

令和6年度
(2024年度)

第3年次編入学学生募集要項
(昼間コース, 夜間主コース共通)



長崎大学経済学部
令和5年7月

目 次

1	アドミッション・ポリシー	1
2	募集人員	1
3	出願資格	1
4	検定料振込期間	3
5	出願期間	3
6	出願手続	3
7	障がい等のある入学志願者との事前相談	6
8	長期履修制度	7
9	安全保障輸出管理について	7
10	編入学試験受験票の発送	7
11	試験日時・試験場	7
12	試験場までの交通機関	8
13	受験に際しての注意事項	9
14	不正行為について	10
15	合格通知書の発送	11
16	入学手続等	11
17	追加合格	11
18	編入学試験に関する問い合わせ先	12
19	個人情報の取扱	12
20	入試情報の提供	12
	(1) 個人成績	
	(2) 採点・評価基準	
	(3) 合否判定基準	
	(4) 過去3年間の入学試験状況	
21	編入学の時期・年次・修学条件等	14
22	令和7年度第3年次編入学試験の変更点について(予告)	15
○	入学志願票等作成上の注意	16

出 願 書 類 様 式	
1 編入学志願票	6 就業計画書
2 編入学試験受験票, 編入学試験写真票, 検定料納付証明書貼付票	7 推薦書
3 編入学志望理由書	8 検定料振込書
4 在学期間証明書	9 住所シート
5 在職証明書	10 受験票等返送用封筒
	11 出願書類送付用封筒

○ 個人成績請求書【郵送専用】

1. アドミッション・ポリシー

経済学部 of 教育理念・目標

経済学部は、「グローバルな視野を持って現代の経済・経営の諸問題を解決できる実践的エコノミストの養成」を教育理念として、グローバル化が進む現代経済社会の諸問題を解決し、社会の調和的発展に貢献する能力を持つ人材の育成を教育目標としています。このような人材は、広い教養や経済・経営に関する知識を持ち、問題解決とその結果の伝達に関する知的技術を身につけ、これら知識と技術、さらに創造的思考を組み合わせ、問題を論理的に俯瞰し、主体的に解決できる能力を備えた人材であると考えています。

経済学部 of アドミッション・ポリシー

経済学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 基礎的学力が身につけている。
- ・ 論理的思考力が身につけている。
- ・ 英語を含むコミュニケーション力が身につけている。
- ・ 強い学習意欲、主体性や行動力がある。

2. 募集人員

学 科	募集人員	
総合経済学科	15人	昼間コース 10人
		夜間主コース 5人

3. 出願資格

(昼間コース)

次の1及び2に該当する者

1. 次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (4) 大学の2年次以上に在学する者又は在学した者（令和6年3月31日までに在学期間が2年以上であること。）で、62単位以上を修得しているもの又は令和6年3月までに修得見込みのもの
- (5) 外国において学校教育における14年以上の課程を修了した者又は令和6年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年以上の課程を修了した者又は令和6年3月までに修了見込みの者
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年以上の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了

した者又は令和 6 年 3 月までに修了見込みの者

- (8) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（修業年限が 2 年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が 1700 時間以上又は総単位数が 62 単位以上であること。）を満たすものを修了した者又は令和 6 年 3 月までに修了見込みの者（ただし、学校教育法第 90 条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- (9) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が 2 年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者又は令和 6 年 3 月修了見込みの者（学校教育法第 90 条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）

※ (4), (5), (6), (7), (8), (9) で出願する場合で、要件を満たすかどうか不明な場合は、事前に「18 編入学試験に関する問い合わせ先」（12 ページ）に問い合わせること。

2. TOEIC (TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE (公式認定証) ※IP テスト不可) のスコア 450 点以上を有する者（ただし、出願期間最終日から過去 2 年以内に受験した TOEIC (TOEIC L&R) のスコアに限る。）

(夜間主コース)

次の 1 又は 2 に該当する者

- 1. 現に就業し（就職内定及び就職予定を含む。）、入学後も就業しながら勉学することを確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの
 - (1) 大学を卒業した者又は令和 6 年 3 月卒業見込みの者
 - (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者又は令和 6 年 3 月卒業見込みの者
 - (4) 大学の 2 年次以上に在学する者又は在学した者（令和 6 年 3 月 31 日までに在学期間が 2 年以上であること。）で、62 単位以上を修得しているもの又は令和 6 年 3 月までに修得見込みのもの
 - (5) 外国において学校教育における 14 年以上の課程を修了した者又は令和 6 年 3 月までに修了見込みの者
 - (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年以上の課程を修了した者又は令和 6 年 3 月までに修了見込みの者
 - (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年以上の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 6 年 3 月までに修了見込みの者
 - (8) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（修業年限が 2 年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が 1700 時間以上又は総単位数が 62 単位以上であること。）を満たすものを修了した者又は令和 6 年 3 月までに修了見込みの者（ただし、学校教育法第 90 条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
 - (9) 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の専攻科の課程（修業年限が 2 年以上であること、その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者又は令和 6 年 3 月修了見込みの者（学校教育法第 90 条に規定する大学入学資格を有する者に限る。）

2. 社会人経験を有し、令和6年3月31日までに、24歳に達し、上記1の各号のいずれかに該当する者

※ 社会人経験には、就業しながら、定時制又は通信制の高等学校(大学の夜間部を含む)に在学した期間及び家事・家業・パート等の従事期間も含む。

※ (4), (5), (6), (7), (8), (9) で出願する場合で、要件を満たすかどうか不明な場合は、事前に「18 編入学試験に関する問い合わせ先」(12 ページ)に問い合わせること。

4. 検定料振込期間

令和5年9月14日(木)～令和5年9月29日(金)

注1) 郵便局・ゆうちょ銀行及び銀行の営業日、営業時間等を十分考慮して振込手続きを行うこと。

2) 検定料を振込期間最終日に振込む場合は、その後、当日17時までに出願書類一式を南地区事務課(経済担当)学務係まで持参することになるので特に注意すること。

5. 出願期間

令和5年9月25日(月)～令和5年9月29日(金) 17時まで<必着>

○出願方法

志願者が出願書類等を持参する場合は、9時から17時まで南地区事務課(経済担当)学務係窓口で受け付ける。

郵送する場合は、本学部所定の出願用封筒を用い、必ず**書留速達**とし、**令和5年9月29日(金) 17時までに必着**するように発送すること。

【提出先】〒850-8506 長崎市片淵4丁目2番1号

長崎大学人文社会科学域事務部南地区事務課(経済担当)学務係

TEL 095-820-6311

6. 出願手続

(1) 出願に必要な書類等

出願書類等	摘要
編入学志願票	本学部所定の用紙により、※欄以外はすべて記入すること。
編入学試験受験票 編入学試験写真票 検定料納付証明書貼付票	本学部所定の用紙により、※欄以外はすべて記入すること。 写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身無帽正面向きで、本人と判別できるものを貼付すること。 なお、検定料納付証明書貼付票には、受付郵便局・ゆうちょ銀行又は受付銀行の「日附印」が押印された「検定料納付証明書」を貼り付けること。

編入学志望理由書	本学部所定の用紙に志願者本人が記入すること。(600字程度)
卒業・修了(見込)証明書 在学期間証明書 学位授与証明書	<p>在籍又は出身大学(学校)の学長(校長)又は学部長が証明したもの。</p> <p>① 出願資格(2)に該当する者は、学位授与証明書とする。</p> <p>② 出願資格(4)に該当する者は、本学部所定の在学期間証明書とする。</p> <p>③ 出願資格(8)に該当する者は、高等学校の卒業証明書及び修業年限が2年以上で、かつ、課程修了に必要な総授業時数が1700時間以上又は総単位数が62単位以上の<u>専門課程を修了(見込み)した者である旨の証明書</u>とする。高等学校卒業認定試験合格者(廃止前の大学入学資格検定合格者を含む)は、合格・成績証明書を提出すること。</p> <p>④ 出願資格(9)に該当する者は、高等学校の卒業証明書及び修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準(平成28年文部科学省告示第63号又は第64号)を満たしている課程を修了(見込み)した者である旨の証明書を提出すること。</p>
成績証明書等 (単位記載のもの)	<p>在籍又は出身大学(学校)の学長(校長)又は学部長が証明し、厳封したものの。</p> <p>出願資格(4)に該当する者で、出願時に62単位以上修得していない者は、現在履修中及び履修予定の科目・単位数を明記した証明書を併せて提出すること。(様式任意)</p>
TOEICの成績証明書 (昼間コースのみ)	TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE(公式認定証 ※IPテスト不可)。出願期間最終日から過去2年以内に受験したもの(原本を提出、コピー不可)。
就業証明書等 (夜間主コースのみ)	<p>以下の条件により、必要な書類を提出すること。</p> <p>① 現に就業し入学後も就業しながら勉学することを確約できる者 →「在職証明書」(「本冊子に添付の様式」又は「在職先所定の様式」)</p> <p>② 令和6年3月に大学、短期大学、専修学校の専門課程及び高等学校等の専攻科を卒業又は修了見込みの者で、就職が内定している者 →「就職内定通知書の写し」又は「それに代わる学校長の証明書」(様式任意)</p> <p>③ 就職を予定している者 →願書出願後の就業についての「就業計画書」(本学部所定の様式による。)を提出し、入学時に在職証明書を提出すること。(「(2)注意事項」の⑤(6ページ)を参照すること。)</p> <p>④ ①～③以外の受験者(社会人経験者) →20歳以上の友人、家族等の「推薦書」(本学部所定の用紙による。)</p>
在留資格証明書 (外国人志願者のみ)	在留カード又は旅券の写し (出願時に在留資格を有している者のみ)
戸籍抄本〔謄本〕 (該当者のみ)	前記の各種提出書類における氏名が現姓と異なる場合に提出すること。

検 定 料	<p>昼間コース 30,000円 夜間主コース 18,000円</p> <p>①振込期間：前記「4. 検定料振込期間」を参照 ②振込場所：郵便局（ゆうちょ銀行）及び銀行の受付窓口 （ATMは使用不可。必ず受付窓口で払い込むこと。）</p> <p>③振込に際しての留意事項 ア 振込時に別途必要な振込手数料は、入学志願者本人の負担となる。 イ 「振込書」の※に、入学志願者の住所・氏名（フリガナ）及び電話番号を黒のボールペンで正確に記入すること。 ウ 「検定料納付証明書」及び「受領証（書）」を受付窓口から受け取る際には、必ず日附印を確認すること。</p> <p>④出願に際しての留意事項 ア 検定料納付証明書貼付票に検定料を振込済の「検定料納付証明書」を貼り付けた後に記入誤り等に気付き、やむを得ず新しい検定料納付証明書貼付票に書き替えなければならない場合、貼付済の「検定料納付証明書」を切り取って、新しい検定料納付証明書貼付票に貼り付けること。検定料は二重に振り込まないこと。 イ 検定料が振り込まれていない場合、振込済の「検定料納付証明書」が検定料納付証明書貼付票の所定の欄に貼り付けていない場合、及び「検定料納付証明書」に日附印が押印されていない場合は出願書類を受理しない。</p> <p>⑤既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合、又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には、振り込んだ者の申し出により当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は、原則、志願者本人の負担とする。なお、返還の申し出は、出願期間の最終日から14日以内とする。</p> <p>⑥日本国政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要である。</p> <p>※問い合わせ先 長崎大学管理運営部経理調達課資金管理班 TEL 095-819-2060</p>
住 所 シ ー ト	<p>選抜結果及び入学手続案内の発送用に使用するので、必ず郵便番号・住所・氏名を明記すること。</p>
受 験 票 返 送 用 封 筒	<p>志願者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、344円の郵便切手を貼付すること。（本学部所定の封筒による。）</p>

注）外国の学校又は機関が作成する書類が日本語以外の場合には、日本語訳を添付すること。

（2）注意事項

- ① 志望したコースを出願後に変更することは認めない。
- ② 出願書類に不備がある場合は受理しない。

また、一旦受理した出願書類はいかなる理由があっても返還しない。

- ③ 卒業見込みの者は卒業後、指定する期日までに「卒業証明書」及び「成績証明書」を提出すること。
- ④ 現在履修中及び履修予定の科目・単位数を明記した証明書を提出した者は、指定する期日までに「成績証明書」を提出すること。
- ⑤ 出願時に就職予定であった者（「就業計画書」の提出者）は、入学後、指定の期日までに「在職証明書」を提出すること。
- ⑥ 出願資格を満たす見込みで受験した合格者が、令和6年3月31日までに出席資格を満たすことができないと確定した場合は、合格を取り消す。

7. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とするものは、出願の前に下記の内容を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書を添え、「18 編入学試験に関する問い合わせ先」（12 ページ）へ提出し、相談すること。

申請書等の内容を検討の上、配慮について通知する。

入学者選抜において事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行うこともある。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

（1）申請書の内容

- ① 試験区分「第3年次編入学」、志願学部・学科（コース）
- ② 障がいの種類・程度
- ③ 受験上の配慮を希望する事項
- ④ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑤ 出身学校等でとられていた配慮
- ⑥ 日常生活の状況
- ⑦ 志願者の郵便番号・住所・氏名・連絡先電話番号・FAX 番号等

（2）申請書の提出期限

原則として令和5年9月12日（火）まで

上記期限経過後でも可能な限り事前相談に応じるが、十分な対応が出来なくなることもある。

★本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っている。

8. 長期履修制度

○長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により標準修業年限では修学困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認めるものです。

長期履修を認められた者は、通常の標準修業年限において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うことになります。

長期履修を申し出ることができる者は、次のいずれかに該当する者で、標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものとします。

- (1) 職業を有し、就業している者
- (2) 家事、育児、介護等に従事している者
- (3) 障がいのある者
- (4) その他相当の事由があると認められる者

長期履修制度の内容及び必要な手続き等の詳細は、「18 編入学試験に関する問い合わせ先」（12ページ）へ照会してください。

9. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っている。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので留意すること。

なお、詳細については「18 編入学試験に関する問い合わせ先」（12ページ）に問い合わせること。

10. 編入学試験受験票の発送

編入学試験受験票は令和5年10月12日（木）に発送する。

11. 試験日時・試験場

（昼間コース）

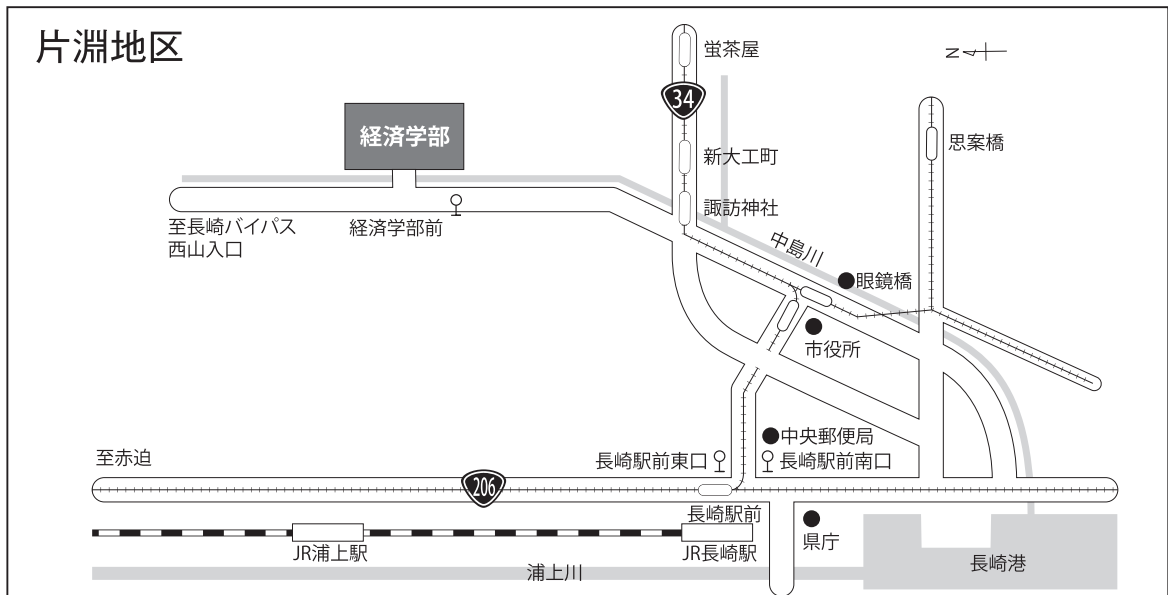
期 日	科目等	時 間	試験場	備 考
令和5年10月28日（土）	総合問題	9：30～11：10	経済学部	経済・社会に関する 基礎的な問題
	面 接	13：00～		

（夜間主コース）

期 日	科目等	時 間	試験場	備 考
令和5年10月28日（土）	小論文	9：30～11：30	経済学部	
	面 接	13：00～		

12. 試験場までの交通機関

試 験 場	交 通 機 関	
長崎大学経済学部 (長崎市片淵4丁目2番1号)	JR長崎駅から	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車利用 『長崎駅前』から「蛍茶屋」行きで『諏訪神社』又は『新大工町』下車，徒歩約15分 ・バス利用（県営バス） 『長崎駅前東口』から「循環」，「浜平・立山」（土・日・祝日は乗り場が『長崎駅前南口』となる），「西山木場」行きで『経済学部前』下車
	長崎空港から	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用（長崎バス，県営バス） 『長崎空港5番のりば』から「長崎方面（出島道路・長崎新地・長崎駅前経由）」行きで『中央橋』下車（約45分），県営バス「循環」，「浜平・立山」，「西山木場」行きに乗り換えて『経済学部前』下車 ・バス利用（県営バス） 『長崎空港4番のりば』から「長崎方面（昭和町・浦上経由）」行きで『長崎駅前』下車（約60分），その後は上記JR長崎駅からと同様



13. 受験に際しての注意事項

- (1) 詳細については、受験票の送付時に通知することがある。
- (2) **試験前日の午後（13時～17時）に試験室を確認すること。**ただし、試験室への入室はできない。
- (3) **試験当日は、編入学試験受験票を必ず持参すること。**
- (4) 受験者は、**各筆記試験（昼間コース：総合問題、夜間主コース：小論文）の開始 30 分前までに所定の試験室に入室し、指定された席に着席すること。**試験開始 50 分前から試験室に入室できる。
- (5) 筆記試験は、開始後 30 分以内の遅刻者（入室者）は受験を認めるが、試験時間の延長はない。30 分を超えた遅刻者には受験を認めない。
- (6) 筆記試験中は、編入学試験受験票を机に置くこと。
- (7) 机の上には、受験票、黒鉛筆、シャープペンシル（シャープペンシルの芯可（ケースは不可）、鉛筆キャップ、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）、直線定規（分度器機能付及び三角定規は不可、線引用のもののみ可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬以外の所持品を置いてはいけない。
- (8) 筆記試験終了後は、筆記試験の試験室で昼食を取っても構わない。
- (9) 面接の集合時刻及び開始時刻は以下のとおりである。**面接集合時刻（面接開始 30 分前）に遅れた場合、特別な事情がない限り、受験を認めない。**

コース	面接集合時刻	面接開始時刻
昼間コース、夜間主コース	12:30	13:00

- (10) 試験室においては監督者の指示に従うこと。指示に従わない場合、不正行為となる場合がある。また、試験時間中に用があるときは手を挙げること。
- (11) 試験中の退室はできない。ただし、体調不良等のときは一時退室を認めるが、試験時間の延長は行わない。
- (12) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類、時計等のアラームは設定を解除しておくこと。
- (13) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類は電源を切り、かばん等に入れ、身につけないこと。身につけていたり手に持っている場合は、不正行為となることがある。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となる。
- (14) 不正行為を行った受験者については、それ以降の受験はできない。また、受験した試験の全ての成績は無効とする。なお、極めて悪質な不正行為を行った場合は、警察に被害届を提出する場合がある。
- (15) 耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合があるので、使用できない。
- (16) 正門付近などで、勧誘や資料の配布が行われている場合があるが、本学部とは一切関係がないので注意すること。
- (17) **受験者は、気象状況・交通状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。**
- (18) 疾病・負傷、試験場に向かう途中の事故等の事由による追試験は実施しないが、所定の日程による試験実施が困難になるような次の①～③の不測の事態が発生した場合は、再試験を実施することがあるので、詳細については「18 編入学試験に関する問い合わせ先」（12 ページ）にて

確認すること。

- ① 定期運行している交通機関の事故又は災害等で、相当の数の受験者に係るもの
 - ② 試験開始後の不測の事態
 - ③ 大規模の災害等
- (19) 自動車、バイク等での試験場構内への乗り入れを禁止する。
また、近隣のコンビニエンスストア等の駐車場へは駐車しないこと。

14. 不正行為について

- ① 次のことをすると**不正行為**となる。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、**それ以後の受験はできない**。また、**受験した試験の全ての（教科・科目）の成績を無効とする**。

- ア 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入（出願登録時に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- カ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- キ 試験時間中に、直線定規以外の定規コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
※ イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとみなす。（試験時間中、病
気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要である。）
- ケ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- ② 上記①以外にも、次のことをすると**不正行為となることがある**。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様とする。

- ア 試験時間中に、直線定規以外の定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

15. 合格通知書の発送

合格者に対しては、令和5年11月10日（金）に合格通知書をレターパックプラス（対面で届けられ、受領印又は署名が必要な郵便※）で発送する。なお、不合格者への通知は行わない。（電話による合否の問い合わせには一切応じない。）

ただし、参考として、同日の10時から17時まで経済学部本館の正面玄関前に合格者番号を掲示する。

※ 不在の場合はポスト等に「不在票」が投かんされるので、担当郵便局へ再配達依頼等の連絡を必ず行うこと。

16. 入学手続等

合格した者は、下記により入学手続を行うこと。詳細については、合格者に別途通知する。

（1）手続期日

合格通知書受領後から令和5年11月22日（水）まで（16時必着、持参不可）

※ 持参による手続きは行わないため、郵便事情を考慮し、余裕をもって郵送すること。

（2）必要書類の提出

- ① 誓約書・保証書
- ② 長崎大学経済学部第3年次編入学試験受験票
- ③ その他の書類（別途送付）

（3）納付金の納入

入学料	昼間コース	・・・	282,000円
	夜間主コース	・・・	141,000円

※ 既納の入学料は返還しない。

参考 1. 令和5年度授業料（年額）

昼間コース	・・・	535,800円（前期分267,900円、後期分267,900円）
夜間主コース	・・・	267,900円（前期分133,950円、後期分133,950円）

2. 授業料の納入時期は、前期分4月、後期分10月になる。

3. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

4. 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。詳細は、入学手続関係書類で通知する。

17. 追加合格

入学辞退等により募集人員に欠員が生じたときは、追加合格を通知することがあるので、不合格者であっても速やかに連絡が取れるように、また、入学の意思について回答ができるようにしておくこと。

なお、合格者で入学手続期間中に入学手続を行わなかった者は、追加合格の対象としない。

18. 編入学試験に関する問い合わせ先

〒850-8506 長崎市片淵4丁目2番1号
長崎大学人文社会科学域事務部南地区事務課（経済担当）学務係
TEL 095-820-6311

19. 個人情報の取扱

- (1) 出願書類により取得された個人情報は、入学者選抜業務のために利用する。また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は、学籍登録業務のために利用する。
- (2) 入学試験の成績及びその他の個人情報は、3年次における奨学生への推薦資料、入学料免除等及び授業料免除等並びに各種奨学金の選考資料並びに教務関係業務に利用する。
- (3) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。
- (4) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、個人情報の保護に関する法律に規定されている場合を除き、以上の目的以外の目的で利用すること又は第三者に提供することはない。

20. 入試情報の提供

(1) 個人成績

本学部では、令和6年度入学試験の個人成績を、受験者本人からの郵便又は窓口での請求により提供する。

- ① 請求期間：令和6年6月1日（土）～令和6年6月30日（日）（郵送必着）
（窓口請求は、土・日曜日を除く9時00分～17時00分）

② 請求者：受験者本人に限る。

③ 提供内容：ア. 個別学力検査等の得点及び総得点
イ. 順位

④ 請求方法：

【郵送の場合】

次の書類を請求先に郵送すること。

※請求する封筒の表に「編入学個人成績請求」と朱書きすること。

ア. 必要事項を記入した「個人成績請求書」（巻末の郵送専用様式）

イ. 本学部受験票（それ以外の書類による本人確認書類については、個別に対応するので事前に確認すること。）

ウ. 返信用封筒：長形3号封筒に、郵便番号・住所・氏名を明記し、郵便切手404円（簡易書留郵便）を貼ったもの。

請求先：「18 編入学試験に関する問い合わせ先」参照

提供方法：上記書類を受領した日から30日以内に簡易書留で「個人成績表」を送付する。（受験票も併せて返送する。）

【窓口の場合】

本学部受験票を持参のうえ、南地区事務課（経済担当）学務係で請求し、翌日以降に「個人成績表」を受領すること。

(2) 採点・評価基準

(昼間コース)

教科名	採点・評価基準
総合問題	経済系の学部2年次前期程度の基礎的学力を測ることを目的として、基礎的知識、読解力、分析力、構想力、独創性、論理性、表現力等を評価する。配点40点
面接	志望理由書、卒業（見込）証明書、成績証明書、TOEIC（TOEIC L&R）のスコアなどを参考に意欲、目的意識、表現力、英語力等を評価する。配点60点

(夜間主コース)

教科名	採点・評価基準
小論文	経済学・経営学を学ぶにあたって必要な基礎的知識、読解力、分析力、構想力、独創性、論理性、表現力等を評価する。配点80点
面接	志望理由書、卒業（見込）証明書、成績証明書、就業証明書などを参考に意欲、目的意識、表現力等を評価する。配点20点

(3) 合否判定基準

(昼間コース)

合 否 判 定 基 準
① 筆記試験（総合問題）及び面接の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。 ただし、筆記試験（40点）、面接（60点）のいずれかの点数が著しく低い者については個別に審査して合否を決定する。
② 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。

(夜間主コース)

合 否 判 定 基 準
① 小論文及び面接の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。 ただし、小論文（80点）、面接（20点）のいずれかの点数が著しく低い者については個別に審査して合否を決定する。
② 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。

(4) 過去3年間の入学試験状況 (過去の問題については窓口で閲覧できる)

年 度	コース	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数 (※)	入学者数
令和3年度	昼間コース	10	16	14	10	6
	昼間(2次募集)	4	5	5	3	3
	夜間主コース	5	30	27	5	5
令和4年度	昼間コース	10	38	35	10	10
	夜間主コース	5	12	12	5	5
令和5年度	昼間コース	10	30	27	13	11
	夜間主コース	5	19	16	6	4

※「合格者数」は、追加合格者数を除く。

21. 編入学の時期・年次・修学条件等

(昼間コース)

- (1) 編入学の時期は令和6年4月1日とし、第3年次に編入するものとする。
- (2) 編入学した者の修業年限は2年とする。ただし、最長在学期間は4年とする。
- (3) 編入学後は、4つの履修コースから1つの履修コースを選択するものとする。
- (4) 卒業に要する履修条件は本学部学生と同様とする。

※1 編入学後は、本学部の認定基準に従い、教養教育科目の最低修得単位数(32単位)、学部導入科目(専門教育科目)(8単位)及び自由専門科目(専門教育科目)のうち18単位を合計した58単位を修得したものと認定する。(すべての授業科目区分の最低修得単位数の合計は126単位である。)

※2 編入学後は、履修科目登録上限制が適用されるので、履修登録の際は十分に注意すること。不明な点があれば学務係まで問い合わせること。

(夜間主コース)

- (1) 編入学の時期は令和6年4月1日とし、第3年次に編入するものとする。
- (2) 編入学した者の修業年限は2年とする。ただし、最長在学期間は4年とする。
- (3) 卒業に要する履修条件は本学部学生と同様とする。

※1 編入学後は、本学部の認定基準に従い、教養教育科目の最低修得単位数(26単位)、学部導入科目(専門教育科目)(6単位)及び自由科目(教養教育科目・専門教育科目)の最低修得単位数(24単位)を合計した56単位を修得したものと認定する。(すべての授業科目区分の最低修得単位数の合計は124単位である。)

※2 編入学後は、履修科目登録上限制が適用されるので、履修登録の際は十分に注意すること。不明な点があれば学務係まで問い合わせること。

※ 修学等に係る詳細については、本学部ホームページ(<http://www.econ.nagasaki-u.ac.jp/>)または、「経済学部案内(パンフレット)」の請求により、確認すること。

請求先: 「18 編入学試験に関する問い合わせ先」(12ページ) 参照

請求方法: 郵便番号、住所、氏名を明記し、250円分の切手を貼った返信用封筒(A4判が入るサイズ)を同封し、請求すること。なお、請求する封筒の表に「経済学部案内請求」と朱書きすること。

22. 令和7年度第3年次編入学試験の変更点について（予告）

令和5年度長崎大学入学者選抜から、夜間主コースの社会人選抜を廃止したことに伴い、令和7年度第3年次編入学試験から、募集人員を以下のとおり変更します。

学 科	コース	令和6年度	令和7年度
		募集人員	募集人員
総合経済学科	昼間コース	<u>10人</u>	<u>15人</u>
	夜間主コース	<u>5人</u>	<u>0人</u>

※令和7年度第3年次編入学試験から夜間主コース（募集人員5人）を廃止し、その募集人員を昼間コースに加えます。

入学志願票等作成上の注意

1. 全 般

- (1) 黒のボールペンによる自筆とし、楷書で丁寧に記入すること。
- (2) 数字については、算用数字を用いること。
- (3) 太線内の該当するものは、すべて記入又は○印を付けること。
- (4) ※欄は、記入しないこと。ただし、振込書の※欄は記入すること。
- (5) 提出書類の内容を出願後に変更することは認めない。

2. 編入学志願票

- (1) 「氏名」欄
略字は使用せず、戸籍上の氏名を記入すること。
- (2) 「現住所」欄
出願書類に不備があった場合等の連絡及び合格通知書の送付先とするので、正確に記入すること。なお、本学部志願票を提出後、現住所を変更した者は、早急にその旨を郵便はがきにより連絡すること。
- (3) 「職歴」欄
現在の勤務先については、「勤務先等」の欄に「(現在に至る)」と記入すること。また、就職内定先については、「年月」の欄の「○年○月」の下に「(予定)」と記入すること。

3. 編入学試験受験票, 編入学試験写真票, 検定料納付証明書貼付票

- (1) 受験票, 写真票及び検定料納付証明書貼付票は切り離さないこと。
- (2) 写真(出願前3ヶ月以内に撮影した上半身無帽正面向きで本人と判別できるもの。縦4cm×横3cm)は、編入学試験受験票及び編入学試験写真票に貼付すること。なお、2枚の写真は同一のものにすること。
- (3) 検定料納付証明書貼付票には、郵便局・ゆうちょ銀行又は銀行の「日附印」が押印された「検定料納付証明書」を貼り付けること。
- (4) 志望コースには、「昼間」又は「夜間主」のいずれかに○印を記入すること。

4. 志望理由書

志望理由書記載の注釈をよく読み記載すること。

5. 住所シート

合格通知及び入学手続書類等の送付に使用するので、正確に郵便番号・住所・氏名・電話番号(志願者本人)を記入すること。

令和6年度 長崎大学経済学部 第3年次編入学志願票

志望コース	昼間 ・ 夜間主		受験番号	※	
フリガナ			性別	生年月日	
氏名			男 ・ 女	西暦 年 月 日生	
出願資格	所在地	設置者	学 校 等		
	都 道 府 県	国立	大 学	学 部	
		公立	短 期 大 学	学 科	
		私立	高等専門学校	専 攻 科	
			専 修 学 校 学 校		
学位授与		学士()			
西暦		年 月	卒業(修了) ・ 卒業(修了)見込 ・ 退学 在学中(第 年次生) 学位授与		
現住所	〒 - TEL () -				
履 歴 書					
学 歴	在学期間等	[]には卒業, 卒業見込, 退学, 在学中等を記入してください。	所在地	設置者	学 校 等
	西暦	年 月 入学		国・公・私	高等学校・高専
	西暦	年 月 []			
	西暦	年 月 入学		国・公・私	
	西暦	年 月 []			
	西暦	年 月 入学		国・公・私	
西暦	年 月 []				
西暦	年 月 入学		国・公・私		
西暦	年 月 []				

※夜間主コース志願者は裏面も記入してください。

(記入上の注意)

- ※印欄については, 記入しないこと。
- 志望コース, 性別, 出願資格及び設置者欄は該当事項を○で囲むこと。
- すべて西暦で記入すること。
- 履歴は空白期間のないように記入すること。

履 歴 書		
職 歴	年 月	勤 務 先 等
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	
	西暦 年 月	

(記入上の注意)

1. 職歴欄(裏面)は家事に従事している場合も記入すること。(夜間主コース志願者のみ)
2. すべて西暦で記入すること。

令和6年度長崎大学経済学部
第3年次編入学試験受験票

写 真
縦 横
4 cm×3 cm

受験番号	※
志望コース	昼間 ・ 夜間主
氏 名	

----- 切り離さないこと -----

令和6年度長崎大学経済学部
第3年次編入学試験写真票

写 真
縦 横
4 cm×3 cm

受験番号	※
志望コース	昼間 ・ 夜間主
氏 名	

----- 切り離さないこと -----

検定料納付証明書貼付票

住 所		
氏 名		
検定料納付証明書 貼付欄 昼間コース…30,000円 夜間主コース…18,000円	○ 受付窓口で払い込んだ際に受領する検定料納付証明書（日附印が押印されていることを確認すること。）をこの枠内の文字の上から貼り付けること （検定料納付証明書の上を左側にして貼付）	
志望学部	経 済 学 部	【第3年次編入学試験】
受 験 番 号	※	

試験日時・試験場

(昼間コース)

期 日	科目等	時 間	試験場	備 考
令和5年10月28日(土)	総合問題	9:30~11:10	経済学部	経済・社会に関する基礎的な問題
	面接	13:00~		

(夜間主コース)

期 日	科目等	時 間	試験場	備 考
令和5年10月28日(土)	小論文	9:30~11:30	経済学部	
	面接	13:00~		

注1) 受験者は、各筆記試験の開始30分前までに所定の試験室に入室し、指定された席に着席すること。

注2) 筆記試験は、開始後30分以内の遅刻者(入室者)は受験を認めるが、試験時間の延長はない。30分を超えた遅刻者には受験を認めない。

注3) 面接集合時刻(面接開始30分前)に遅れた場合、特別な事情がない限り、受験を認めない。

注4) 試験当日は、編入学試験受験票を必ず持参すること。もし、紛失したり忘れた場合は、当日、監督者等に直ぐに申し出ること。

令和6年度 長崎大学経済学部 第3年次編入学志望理由書

志望コース	昼間・夜間主	氏名		受験番号	※

(記入上の注意)

1. 志望コース欄は、いずれかに○印を付けること。
2. ※欄については、記入しないこと。

募集要項「3. 出願資格」の(4)で出願する者のみ提出してください。

在学期間証明書

所属学部・学科等 _____

氏 名 _____

生 年 月 日 西 暦 年 月 日

上記の者について、以下のとおり証明する。

西 暦 年 月 日 入学

西 暦 年 月 日 現在 年次 在学中

退学

その他 ()

休学期間なし

休学期間あり

休学期間 (西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日)

(西暦 年 月 日 ~ 西暦 年 月 日)

年 月 日

大学等名

所 属 長 印

(大学長又は学部長)

※該当する項目について、欄に✓を付けてください。

※すべて西暦で記入してください。

受験番号	※
------	---

在 職 証 明 書

氏 名 _____
 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

上記の者は、下記のとおり在職していることを証明します。

記

職 歴	西暦 年 月 日	採 用	
	西暦 年 月 日		
	西暦 年 月 日		
	西暦 年 月 日		
現 職 名			
雇 用 形 態	<input type="checkbox"/> 正社員 <input type="checkbox"/> 臨時社員	勤 務 時 間	1 週平均 _____ 時間
職 務 内 容			

年 _____ 月 _____ 日
 社名等

代表者

印

※ 在職先所定の様式による「在職証明書」でも差し支えない。

※ すべて西暦で記入すること。

就業計画書(就職を予定している者)

長崎大学経済学部第3年次編入学(夜間主コース)

氏名		受験番号	※
就職を予定している者は、願書出願後の就業計画を記載すること。			

(記入上の注意)

1. ※欄については、記入しないこと。
2. 就職内定者や、入学後も現在の職を続ける者は不要である。

住 所 シ ー ト

(令和6年度 長崎大学経済学部 第3年次編入学試験)

合格通知書等を受ける郵便番号、住所、氏名等を正確に記入すること。

アパート・団地等の場合は名称等を正確に記入すること。

なお、本学部に出願書類を提出後、現住所を変更した場合は、早急にその旨を郵便はがきにより連絡すること。

[合格通知書等発送用]

〒	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
.....									
.....									
.....									
								様	
(TEL :		())
受験番号				※					

[後援会案内等発送用]

〒	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
.....								
.....								
.....								
								様
受験番号		※						

受験番号	※
------	---

切
り
取
り
線

個人成績請求書

フリガナ 氏名		請求日	年 月 日
連絡先	〒 ー (TEL) ー ー		
試験区分	第3年次編入学		
受験学部	経済学部		
学科・課程等 ※該当に○	総合経済学科 昼間コース	総合経済学科 夜間主コース	
受験番号			
合格・不合格 ※該当に○	合格 ・ 不合格	合格 ・ 不合格	
成績請求事項 ※いずれかに○	1. 得点 2. 順位 3. 得点及び順位	1. 得点 2. 順位 3. 得点及び順位	

- (備考) 1. 太線の枠内を記入すること。
 2. 「受験番号」は、受験票の受験番号を記入すること。
 3. 請求は、令和6年6月1日（土）から令和6年6月30日（日）までに必着するように行うこと。
 4. 長崎大学経済学部第3年次編入学受験票を必ず同封すること。

[経済学部学務係記入欄]

* 本人確認

編入学試験受験票

その他

[受験番号：

]

[

]

受理日	年 月 日		
交付日	年 月 日		
整理番号	照合欄		担当者

切
り
取
り
線

【編入学試験に関する問い合わせ先】

長崎大学 人文社会科学域事務部
南地区事務課（経済担当）学務係

〒850-8506 長崎市片淵4丁目2番1号

TEL 095-820-6311